

Propelling

Issue 1

初夏の陽に まろきつばさの 菩薩めき



Nakashima People Vol.1

中島 基善 ナカシマプロペラ 代表取締役社長

Propelling は、陽の
あたらなる船底でその
一生を送るプロペラが
秘めるメッセージに
光をあてて、世界の船
そして船とともにある
世界を未来へと一歩
進める岡山発・日本発
のかわらばん

1926年、祖父は鑄造所を創業、2年後に
漁船用プロペラを造り始めた。父は第二次世界
大戦後に大形プロペラを手掛け、3人の兄弟と
ともにナカシマの世界市場におけるシェアを
伸ばす。現社長・中島基善氏と経営陣は新工場
建設や海外拠点構築に大胆に投資。こうしてい
まや、同社は名実ともにグローバル企業へと
成長している。3世代90年を貫く「ナカシマ
ならでは」とは何なのだろう。基善氏に聞いた。

Q 経営者として大切にしていることは？

A お客様も人、社員も人ですから、人が好き
で人に関心があることは、経営者の条件だと思
います。私自身、積極的に外に出て、人脈を
広げています。すると、人も情報も自然と

集まってくるものです。

そして、進むときも退くときも、果敢に決断
を下し、実行することですね。

社内では、何でも言える雰囲気、絶えず
チャレンジできて失敗が許される風土づくりを
大事にしています。失敗は成長に欠かせない
プロセスですから。

Q 創業以来、受け継がれてきたものとは？

A 鑄物職人だった祖父が伝えた技と心意気、
新し物好きの負けず嫌いだった父がこだわった
最先端テクノロジー、そして2人に共通する
「現状に満足しない」精神、これらを受け
継いでではじめて、ナカシマの「ものづくり」が
あります。

“ただ、設計図があれば、
誰が作ってもロケットが月
にたどり着くわけではない。
プロペラも、優れた設計図
が忠実に再現されてはじめて
本来の力を発揮します。”

中島 基善



ナカシマでは、インハウスの高度な設計技術を支えるコンピューターの導入・アップグレードに積極的に投資しており、その性能は業界屈指です。

ただ、設計図があれば、誰が作ってもロケットが月にたどり着くわけではない。プロペラも、優れた設計図が忠実に再現されてはじめて本来の力を発揮します。ナカシマは、最新鋭機器による加工技術と繊細な職人芸が融合した最強の製造力で、これを実現しています。こうした「ナカシマならではの」を、これからも大事にしていきます。

Q 一品受注生産にこだわる理由は？

A 実は、世界の多くのメーカーが、成型作業を標準化してシリーズ建造船のプロペラを受注し、生産を効率化する体制をとるようになっており、多種多様な一品受注に対応できるところは少なくなっています。

しかし、船の用途ごとに積み荷や装備が違い、港ごとに水深が違い、航路ごとに気候が違う。船速や燃費だけでなく、環境負荷もますます重視されていく今後、一隻一隻に最適なプロペラを設計・製造できる力はこれまでよりも貴重なものになっていくと考えています。

Q 創業100周年に向け、ナカシマの今後は？

A いまナカシマは、プロペラという「もの」を納めるだけで

なく、推進性能の最適化のスペシャリストとして、船の一生に寄り添う企業へと進化しつつあります。

目指すのは、世界中の船主さんはじめお客様にとって最も信頼できるパートナー。そして、世界で断トツの存在感を持つ会社になっていること。そのための改革に取り組んでいる若い世代に期待しています。■

ナカシマプロペラの金言

古人の跡を求めず

古人の求めたる所を求めよ

松尾 芭蕉

故・中島保氏（二代目社長）が、社史の前書きで引用している。

先達がつくり上げたものではなく、その奥にある志・理想をこそ受け継いでそれを超えたものをつくれ——ナカシマプロペラのブランドスローガン“*We Go Beyond*”にもつながる、同社の発展を支えてきた「心」のひとつだ。



シリーズ寄稿：日本ならではのイノベーション 江戸の都と水辺

四季の変化に富んでいながら一年を通じて比較的穏やかな、世界でもまれなほど恵まれた自然環境の中、日本人は古来、独自の人と自然の関係を育んできた。

自らをそうした自然の一部と捉える世界観、それに根ざした美意識を発想の源泉とし、自然と「共に在る」文明を築いてきたのだ。

例えば、江戸時代の社会における「水」とのつきあい方に、その日本ならではの文明の在りようをみてとることができる。

江戸の都といえば、当時世界一ともいわれる大都市。大人口を養うのに十分な生活用水と食糧が供給されていただけでなく、そこはまた、歌川広重の浮世絵『名所江戸百景』などにも描かれているように、心身を潤す情緒溢れる水辺の空間に満ちていた。

水環境学の千賀裕太郎氏によれば、急流だらけの日本では古来、「ゆっくりした流れをつくる」ことで大地をくまなく潤すことが、国土計画の基本であった。

江戸中期に完成したそのシステムは、山の木の保全、横向きの川（用水路）と水を蓄えるための溜め池や水田をつくることから成るもので、高い食糧生産性の他、生物多様性、豊富なわき水や地下水、さらには多彩な機能を持つ

水辺の空間をもたらしていたのだ。

自然に対して能動的に働きかけて、生活を豊かにしながら、自然を搾取するどころか結果的にその生態系をも潤す。

日本ならではのイノベーションともいえるそのシステムは、現代の人類が必死に追い求める、サステナビリティや共生、ダイバシティといった自然の摂理を、はじめてから内包するものだった。

明治時代以降、日本は急速な近代化の中で、人間が自然の循環の「外」に身を置いてそれを「管理」する文明モデルへと歩みを進めることになる。治水政策においても、その2000年来の原則は放棄され、「できるだけ早く海へ流す」システムへと舵が切られた。

こうして、自然と共に在る文明の姿を、その背景にある世界観・美意識ごと、いまや日本人自身が見失いつつあるのが現実だ。

おりしも東京でのオリンピック開催が決まり、最近の日本では「和」を見直そうとする動きが盛り上がりを見せている。

それが、表層的なところで和を文化を商品化することにと終わらずに、その価値を深層から捉え直して世界共通の課題解決にむけて解き放つことにつながるか。

かつての江戸の都での祭典が、その叡智を呼び覚ますきっかけとなることに期待したい。 ■

NAKASHIMA PROPELLER

売り手よし、買い手よし、世界よし

日本の造船業の一大中心地・瀬戸内地方に本社を構えるナカシマプロペラは、船舶用プロペラでトップレベルのシェアを誇る船舶推進機器メーカーです。

漁船用プロペラを造る鋳物工場に始まり、つねに安心・安全・快適をお届けするために、「プロペラにできること」を追求し続けてきたその歴史は、2026年に創業100周年を迎えます。

推進機能の中心を担うプロペラから船全体を見通すと、その最適姿が見えてくる——そんな新しい視点で、ナカシマは船のライフサイクルに寄り添うトータルなサービスを提供し、環境負荷の低減にもつながる低燃費化の実現など、業界を越えて世界に貢献していきます。

■ ナカシマブランドとは？

船の一生に寄り添い、“推進性能”を最適化するスペシャリスト

日本品質を生む設計力・製造力

高性能コンピューター（3000コア大規模プロセッサ）が、100万基にのぼる世界屈指の生産実績の中で蓄積された膨大なデータをもとにはじきだす、設計図。最先端のテクノロジーと熟練した職人技を併せ持つナカシマ独自の製造力が、その設計形状を忠実に再現、高効率・低振動・低騒音の日本品質を提供しています。

一品受注生産 “100の船があれば100通りのプロペラがある”

プロペラは、推進性能の最適化の要。メーカー本位の効率化を排して、一品受注生産にこだわり、一貫生産体制のもと、あらゆる船に対して「その一隻」に最適なプロペラを設計・製造しています。

最新鋭機器の利用を高度化

NC加工では独自のスマートテクノロジーにより、高効率プロペラの複雑な三次元曲面の形状定義も可能に。前・後縁部のエッジ加工など、加工機による翼面加工領域を広げて、特殊な職人技が必要なプロセスを簡素化し、迅速かつバラツキのない製造を実現しています。

究極の滑らかさ

人間の手は、物体表面のなめらかさを判定する理想の検査装置です。最高の訓練を受けたナカシマの職人は、翼表面をゆっくりと撫でるだけで、1/100mmの乱れを感知する「匠の技」を身に付けています。最新のCFD計算でも正確な予測がむずかしい微妙なキャビテーションや鳴音の発生につながる不具合も決して見逃しません。

どんな時も、どんな場所でも

プロペラ損傷時には、世界的ネットワークを活かして、修理エンジニアの派遣など迅速に対応。燃費状態や航路、経年劣化など諸条件を考慮し、エッジカットや省エネ研磨、レトロフィットの提案なども行い、船の「一生」を通じてきめ細かくサポートします。

■ サービスについて

船舶用プロペラ分野・推進システム分野におけるFPP、CPP、スラスト、船尾まわり省エネ付加物、新素材（CFRP）プロペラのデザインと製造

損傷プロペラの補修、エッジカット（エッジ修正含む）、省エネ研磨、実運航・就航後の推進機器のサポート、低燃費船を実現する推進性能の最適化など

対応船種：メガコンテナ船、VLCC、VLOC、VLGC、LNG/LPG船、PCC、客船、作業船、内航船、調査船、バトロール船

対応船級：全主要船級（アイスクラス対応可）



■ 展示会情報

NOR-SHIPPING

2015年6月2日～5日

Norway Trade Fairs Congress and Exhibition Centre

MARINTEC CHINA

2015年12月1日～4日

Shanghai New International Expo Centre

ナカシマプロペラ 株式会社

〒709-0625

岡山県岡山市東区上道北方 688-1

086-279-5111

npcwebmaster@nakashima.co.jp

<http://www.nakashima.co.jp>

Japan・Singapore・Vietnam・Philippines

Korea・Taiwan・China・U.S.A.・Brazil・Turkey・U.K.・Namibia・UAE

Propelling 第1号 2015年5月12日

企画・制作 株式会社八百万 INGカンパニー

写真 太田拓実 [P.1, 2, 4]

Copyright 2015 NAKASHIMA PROPELLER Co.Ltd. All Rights Reserved.